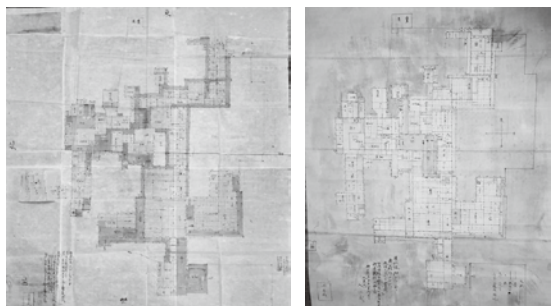


市教育委員会は、令和6年3月1日付で  
**新たに市指定有形文化財を  
 指定しました。**

さ た け み な み け お や し き え ず  
**佐竹南家御屋敷絵図 2点**



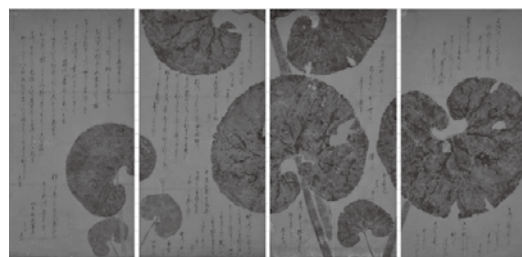
現在の市役所本庁舎周辺に築かれた佐竹南家の御屋敷の平面図で、いずれも天保九年(1838)に描かれた絵図をもとに、かつての武士たちが明治期に描いたものです。対面所や用座(「佐竹南家日記」が記された場所)など各部屋の間数や名称がくわしく記されており、機能的に部屋割りされていたことがわかります。江戸期に秋田藩に命じられ、この地で政務にあたった佐竹南家の御屋敷の様子を今に伝える貴重な資料です。

ゆざわの  
**文化財**

問 生涯学習課文化財保護室 (☎ 55-8193)

こ とう い つ じ ゃ ゃ び つ し り ょ う  
 後藤逸女筆資料

こ とう い つ じ ゃ が さ ん あ き た ふ き ず り  
**「後藤逸女画賛秋田落摺」 4点**



歌人後藤逸女(1815 - 1883)、63歳(明治9年(1876))の時の作品です。大小7枚の落の葉の間に、逸女が、各作などを織り混ぜながら流れるような筆致で秋田落についての文と和歌を記しています。もとは明治末期に川連漆器の「大館五人衆」といわれた一人の自宅座敷の襖絵でした。本市を代表する歌人の資料として、また、幕末から明治にかけての地場産業の様子を知る上でも貴重な資料です。

**ゆざわ ジオパーク**  

**ジオパークって何だろう？**

ジオパークは「ジオ(大地)」と「パーク(公園)」を組み合わせた言葉です。私たち人間は、動物や植物とともに、大地の上で生活しています。貴重な地質や地形は、地球の歴史を物語っているだけでなく、人の暮らしや文化に直接結びついています。大地と自然、人々とのつながりを学び、地球をまるごと楽しむ場所、それがジオパークです。

日本で「ジオパーク」と呼ばれる地域には、日本ジオパーク委員会が認定する「日本ジオパーク」と、ユネスコ世界ジオパークが認定する「世界ジオパーク」があります。「日本ジオパーク」が46カ所、そのうち10カ所がユネスコ世界ジオパークにも認定されています。

湯沢市をエリアとするゆざわジオパークは、日本ジオパークの1つで、平成24年に認定を受けました。



ゆざわジオパークを代表する見どころ、川原毛地獄



酒米を育む山田の田園

問 湯沢市ジオパーク推進協議会(観光・ジオパーク推進課ジオパーク推進班内 ☎ 55-8195)